



萌 木 1 月 号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校 長 山 田 勝

令和 4 年 1 月 1 1 発行

目標を持って進んでいきましょう

校長 山田 勝

新年あけましておめでとうございます。

本日より、3学期が始まりました。学校暦の中ではまとめの時期であるとともに、4月からの新しいスタートを切るための準備の時期としても、位置付けられています。

そのことを踏まえ、始業式では、生徒に目標・夢を持つことを大切にしましょうという話をしました。

あけましておめでとうございます。

この冬休み、みなさんはどのように過ごしましたか。

2学期の終業式で、みなさんに1年の目標を立てましょうというお話をしましたが、自分の16歳、20歳、30歳にどんな自分になっていたいか考えてみましたか。

目標・夢を持つことはとても大切なことだと思います。

「こういう仕事をして社会に貢献したい」「こんな自分になって、こういう幸せな家族を持ちたい」など、自分が生きていく上での大きな目標・夢がはっきり持てることは幸せです。でもなかなかそのことを考えることは難しいかもしれません。

もう少し身近な目標・夢を考えてみませんか。

3か月後の4月、1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は中学校を卒業し新しい生活が始まっていると思います。どんな生活が待っているのか、少しは想像できることでもあると思います。ただ想像してその時を待つだけでなく、その時、どんな自分でいたいと考えていますか。

その時になってからでは、頑張ろうという方向に踏み出すことに戸惑ってしまうこともあります。頑張ろうと思うことを今から考えて準備しておきませんか。こういう風な自分になりたい、こういうことを頑張る自分でありたい、とその時の自分の目標・夢を考えておくことで、自分をさらに成長させられる準備を整えておきましょう。楽しい時間が待っていることに気が付けると思います。

冬休みに、今年のオリンピックで活躍したある選手のニュースに触れて、今日のこの始業式で目標・夢を持つことは大切なことだというお話をしようと考えました。

その選手はフェンシングエペ団体で金メダルを取った山田優選手のことです。テレビ観戦をしていた時、自分と名前の字は違うのですが同姓同名の選手が活躍していることを知り、それから山田選手に関心を持ちました。他の選手以上にその活躍をうれしく思い、それからも見守りました。その山田選手が年末に所属していた自衛隊をやめ、企業と契約して新たな活躍の場に進むというニュースに触れました。オリンピック金メダルという頂点を極めてさえ、さらに新たな目標を持ち行動する姿勢に、大変感銘を受けました。フェンシングという競技を極め、また普及させるという彼の目標に沿った行動のようでした。

そのニュースを受け、どのような成長の段階でも目標・夢を持ち、行動することの大切さを七中生に話そうと思いました。

さて、感染状況も、また増加に転じつつあります。感染対策をしっかり行わなければなりません。

3学期も、急な変更や新しい取り組みなどもあるかもしれません。どのような状況の中でも、やるべきことにしっかり取り組み成長していく七中生であってほしいと思います。当たり前のことに当たり前として取り組み、目標・夢を持って成長していく3学期にしていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。